学校統合、廃校によせる子供たちの思い

廃校になる木津小学校と新校舎への希望

五年　入山昭彦

「ワー、ワー」
と、みんなのかん高い無じゃ気な声が運動場いっぱいに広がっている。だが、もう木津小学校でこんな声は、きこえなくなってしまう。とても残念でさびしい気がする。

思い出せば、この木津小学校で五年間、いろいろなことがあった。楽しかったこと、苦しかったことなど数多くの思い出を残し廃校になってしまう。せめて、あと何年か待ってもらいたかった。新校舎もいいが、ぼくは百三年も続き、みんなの思い出をのせたこの伝統ある木津小学校も大すきだ。

古い校舎で雨もりもしたしこわれたりしたけど、いざ廃校となると、今までのなつかしさが、こみあげてくる。外の運動場にあり、毎日見なれた三本松や記念ひはそのまま残ると思うが、校舎は何になるのかな、公園みたいになるのだろうか、また公民館になるのだろうか、いろいろとみんなで話しあっているが、ぼくにはわからない。

廃校になって残念なのは、ぼく達ばかりでなく、横越小学校の生徒も小杉の生徒も沢海の生徒もみんな同じだと思う。それぞれの学校を卒業したおとなの人達も、ぼく達いじょうに残念だろうな。六年間すごした母校がなくなるのだから、ぼくは廃校になっても、五年間の思い出は、いつまでも忘れないと思う。

世の中が進歩し、あちこちで鉄筋の校舎が立っている。人のことだと思っていたら、ぼく達も来年は立っぱな校舎へはいれる。まるで夢みたいだ。新校舎へ行ったら、どんな人と友達になるか楽しみだ。

新しい校舎、新しい友達、みんなぼく達を待っているようだ。広い体育館でせいいっぱい運動しよう。

四月からは、新校舎で最高学年として、いっそう努力し今までより以上にみんなで、仲よくし、立派な学校になるようがんばりたいと思う。

さようなら、沢海小

六年　目黒正美

今年で、ぼくたちの沢海小学校も統一して一つの学校となる。今、こうしてふりかえってみると、いろいろなことがあった。

ぼくたち生徒全員が、加盟していたJRC、みんなで楽しくすごした文化祭等、思い出は数えきれない。百三年の歴史を持つ、沢海小学校の古びた校舎に、古びたへい。そのへいにも、落書あり傷ありのさまざまな模様をうき出させている。

グランドに、どっしり腰をすえた、創立百年記念碑の中にある小石。その小石には、自分たちの名前が、書いてある。

こうして思い返せば、ふだんあまり気にもとめないことが、変わった形になって、頭の中でよみがえってくる。

先に中学へ進学した人達の残していった物も、これからがんばって、立派になる人もみんな沢海小が、統合すればこう思うにちがいない。

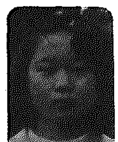
『沢海小は、たいしたものだった。立派だった。よくがんばった。』と、それに沢海小は、何か口で言えないような気品や気高さがあるような気がする。なぜってこの学校には、他校にない特別なものがあるからだ。

例えば、JRCもその中の一つだ。『人のためにつくす』という気持ちを目的として結成された。これも、全校生徒の自慢できる一つだろう。人のためにつくすという言葉は、何かを感じさせるような魅力がある。このような、他校にはない特別なことも、百年以上もたつこの学校が「もう無くなってしまうのか。」と思うと、なぜか悲しいような気がする。けれどもこういうことは仕方ないのだろう。自分では「無くなるな。」と思っても、これから統合したなりの楽しさ、面白さが出てくるにちがいない。

閉校と同時に中学へ進学するぼく達や、在校生は、小学校時代まなんだ沢海小学校をいつまでもいつまでも忘れることができないことだろう。

新しい学校

小杉小五年　宮嶋桂子



私は、新しい学校についていいところもあるし、ちょっといやなところもあります。いいところは、設備がとてもよくて、教室も明るいところです。いやなところは、小学校の名前が横越小学校なので小杉がなくなるようでいやなのです。

私は、二回だけ学校の中を見たことがありますが、とてもすばらしいような気がしました。私たちの知らない教室たとえば、児童会室や、図工室など、今いる学校にくらべて、とてもいいなあと思います。私には、沢海やその他の学校の友だちが、まあまあいるので、一日中会っていたいということが、かなえられてうれしいです。

でも、心配なのは友だちと勉強です。友だちがあまりできなかったり、仲間になれなかったりするといやだなあと思います。勉強もあまりわからなかったりすると、どうなるのだろうと思います。それに、スクールバスで通学できるので、歩かずに行けるからとてもいいのですが、冬などおそくなって、バスに乗りおくれたらとても困ると思います。

六年生を送る会など各組が参加すると、一日中しなければできません。それに運動会の練習などどうするのかなあと思います。私は、先生方がそういうことを決めるのはとてもたいへんだと思います。ですから新しい学校へ行っても、できるだけ人に迷わくをかけないようにしたいです。

考えてみると、やっぱり小杉小学校の六年生の教室で、私たち全員、はなれずくらして、勉強したり、そうじをしたり、遊んだりしたいのですが、新しい学校は、とてもすばらしくて、私たちが行くのを待っているのです。

閉校をむかえて

六年　加藤志保

今年で横越村の四つの小学校は閉校をむかえます。わたしは何かさびしいような気がします。

それは、百年以上もたったあの木造の古い校舎がこわれて、これからは、鉄筋三階だての校舎になるのです。わたしは、この木造の古い校舎の思い出が頭にうかんできます。

そうじで、ゆかをふいていて、手にとげをさしたこと。運動場のてっぺんに、はとがすみついて、わたし達が遊んでいるところに、ふんを落としたり、校内にダニが発生して、大さわぎをしたり、二階で水が入っているバケツをひっくり返して、あわてて下へとんでいったこと。週番で窓のあけしめをしていると、古い戸だから、よくしまらなく力いっぱい窓をひっぱったりおしたりしたこと。考えてみると、木造の校舎だったからあった思い出がたくさんあります。もう来年からは、鉄筋の校舎なので、こんなこともなくなるのです。ほんとうにさびしい気がします。

もう一つあります。わたし達といっしょに遊んで、勉強した長い長い歴史のある学校この歴史も今年で終わり、新横越小学校として、来年からは、また新しく一年目からはじまるのです。小学校の歴史も、二百年、三百年と続いてほしかったと思います。

けれども、新しくなれば、四つの小学校がいっしょになって、今よりも、もっともっと友達ができるのです。わたしは来年は中学校ですから、この校舎には入れません。今は横越小学校での同じ友達が三十七人しかいません。けれども、四つの小学校がいっしょになれば百人近くいるのです。この大勢の友達となかよくして、明るい小学校をつくってもらいたいと思います。

――横越村連合青年師走にかける――
「村青研」「青年の集い」

村連青は、去る十二月十三日、十四日(一泊二日)巻町越前浜にある県立青少年研修センターで、村青年問題研究集会を開催した。

村連青としてこのセンターを利用するのは初めてのことであり、青研にかける青年の意気ごみが感じられた。

この青研は毎年連青が開催しており、青年が直面している身近な問題をとりあげ、話し合い今後の青年活動を見い出す場である。

本年度は特に、女子青年問題、地域活動などが真剣に話し合われていた。参加者も男女合せ五十名を数えた。

初日は午後から県社会教育主事を招き、「激動社会における青年のあり方」という題で講演を聞き、夜は他団体合同のキャンドルサービスで交歓を深めた。

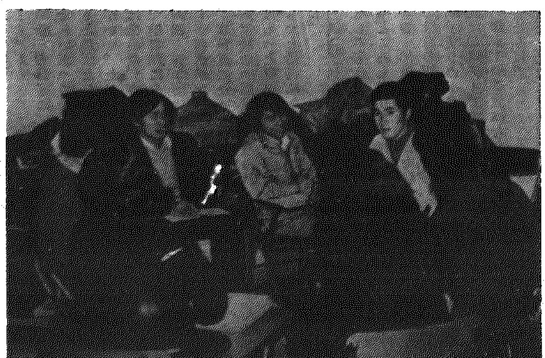
二日目は午前中、二つの分科会に別れ、話し合いがなされ午後からは全体会に入り各分科会で話し合われたことを総括した。

この村青研後、郡青研、県青研、全国青研とあり、村連青は例年どうりこれらの青研に本村からも多くの青年を参加させてゆきたいとはりきっていた。

「青年の集い」に百名の青年が集う

また、連青では十二月二十一日、公民館共催で「青年の集い」を開催した。クリスマスツリーを囲んでのキャンドルサービス、社交ダンス、フォークダンス、プレゼント交換、抽選会またまたサンタクロースもとび出すなど、寒い夜に会場の公民館講堂は若者の笑い声や、歌でわきたっていた。

連青教育指導部長の話…参加者が多かったのにはおどろいた。今回の参加者を見ると未組織青年が多かったようだ近年、青年は集団を求めているとか…。今後こういう青年達が気軽に集える機会を数多く企画していきたい。



(真剣に討議する青年たち)

横越村文化団体協議会結成さる

去る十一月十九日夜、公民館において「横越村文化団体協議会」を結成しました。この団体の目的は、横越村における総合文化団体として、各種文化団体の連絡協調を図り芸術文化の健全なる発展と高揚に資するというものであります。

又、公民館で行ういろいろの行事に積極的に協力していただき、広く村民の中にうずまっている文化意識を掘り起して行なうとするものです。

現在十二団体加盟し、会員は百八十名余であります。部門別に民謡あり民踊あり、神楽、しし舞の保存会、読書クラブ、菊花愛好会、俳句の小阿賀吟社等、さまざまです。蜀鶏(とうまる)保存会という伝統ある天然記念物を飼っておられ、これを趣味にしておられるグループもあります。蜀鶏は新潟県の原産だそうです。

これらグループに入りたい方がありましたら、公民館までおしらせして下さい。

尚、役員は次のように決定しました。

会長　渡辺一(横越下)
副会長　佐藤千代志(木津上)
〃　永井一作(横越上)
幹事　高橋喜代一(小杉上)
〃　井上作一(川根谷内)

新春俳句大会御案内

期日　一月二十五日(日)
午前九時
兼題はすでに提出済みです。席題は当日発表します。兼題を応募されない方も御希望の方は是非御参加下さい。終了後懇親会を用意していますので車などご考慮下さい。

第二回 村民ボウリング大会参加者募集

○期日　一月二十五日(日)
○会場　新津ミナミボウル
○参加費　一、二〇〇円
○ルール　三ゲームトータル。女性、子供、高齢者にハンデ有
○申込　問合せ　横越村公民館内体育協会
○主催　横越村体育協会